竜王岩伝説

両津湾水津沖に浮かぶ竜王岩の近くで順徳天皇が御船遊びをなされた時、誤って御刀を海中に落とされた。

その時、

「東の間も身を放たじと契りしに

波の底にもさや思うらむ」

と詠まれたところ、竜神が感応して御刀を捧げ奉った。

この因縁により願いが叶う竜王岩伝説が生まれた